

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○基本情報			
科目名(英)	ICT実践演習 (Practical ICT Skills)		
ナンバリングコード	P31906	大分類 / 難易度 科目分野	情報メディア学科 専門科目 / 応用レベル ビジネスコンピュータ・リテラシー
単位数	1	配当学年 / 開講期	3年 / 前期
必修・選択区分	コース必修:情報コミュコース 選択:情報工学コース、メディアデザインコース、こども・情報教育コース		
授業コード	P181601	クラス名	-
担当教員名	松永 多苗子、高 文局、鈴木 秀男		
履修上の注意、履修条件	授業は2つのテーマから構成されます。最初のテーマではPCを使った実習を行うので、データを保存できるようにポータブルHDDまたはUSBメモリを持参してください。2つ目のテーマは、各自のスマホを使い、グループで課題に取り組みます。グループでの活動に支障があるので、遅刻・欠席はしないよう心掛けましょう。また、外部講師の方を招聘するため、既定の時間外での活動があります。初回ガイダンス時に日程を確認してください。		
教科書	必要に応じて資料を配布します。		
参考文献及び指定図書	講義内で指定します。		
関連科目	ICT 基礎演習, ICT 応用		

○授業の目的・概要等							
授業の目的	本授業では、これまでに学んできたICTに関する知識を、知識として持っているだけでなく、実際の問題に対して活用できるようにすることを目的とします。実社会においてICTを利活用する2種類の場面を想定し、それぞれの課題に取り組むことで実際に使える技術を習得します。						
授業の概要	テーマ1では、特定のソフトを用いるのではなくHTMLを記述してWebページを作成します。テーマ2では、スマホを使った動画作成技術を習得します。基本的な技術を学んだ後、グループに分かれて「コース紹介」等をテーマとして、実践的な動画作成を行います。						
授業の運営方法	<table border="1"> <tr> <td>(1) 授業の形式</td> <td>「演習等形式」</td> </tr> <tr> <td>(2) 複数担当の場合の方式</td> <td>「オムニバス方式」</td> </tr> <tr> <td>(3) アクティブ・ラーニング</td> <td>グループワーク 他</td> </tr> </table>	(1) 授業の形式	「演習等形式」	(2) 複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」	(3) アクティブ・ラーニング	グループワーク 他
(1) 授業の形式	「演習等形式」						
(2) 複数担当の場合の方式	「オムニバス方式」						
(3) アクティブ・ラーニング	グループワーク 他						
地域志向科目	該当しない						
実務経験のある教員による授業科目	内村 航(外部講師) 株式会社ドウガテックの代表取締役社長 本授業のテーマ2に関連する実務経験として、動画を中心とした教育事業に従事。						

○成績評価の指標		○成績評価基準(合計100点)		
到達目標の観点	到達目標	テスト (期末試験・中間確認等)	提出物 (レポート・作品等)	無形成果 (発表・その他)
【関心・意欲・態度】	社会におけるICT利活用の重要性を意識し、ICTに関する実践的な技術の修得にむけて、高い関心をもって取り組むことができる。		20点	10点
【知識・理解】	① 簡単なwebページを作成するための知識を理解できる。 ② スマホを使った簡単な動画作成のための知識を理解できる。		20点	
【技能・表現・コミュニケーション】	① 簡単なwebページを作成する技術を習得する。 ② スマホを使った動画撮影・編集の技術を習得する。 ③ グループで協力して作品を完成させることができる。		30点	
【思考・判断・創造】	① 簡単なwebページのイメージを考案することができる。 ② 与えられたテーマに対する効果的な動画の企画・構成ができる。		20点	
○成績評価の補足(具体的な評価方法および期末試験・レポート等の学習成果・課題のフィードバック方法)				
学習成果・課題に対するフィードバックは、次回以降の授業中に講評・解説を行います。到達目標に対する達成水準の目安は以下の通りです。 [Sレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標を満たしている。(提出物・無形成果の合計点数が90点以上) [Aレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標をほぼ満たしている。(提出物・無形成果の合計点数が80点～89点) [Bレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標をかなり満たしている。(提出物・無形成果の合計点数が70点～79点) [Cレベル]単位を取得するために達成すべき到達目標を一部満たしている。(提出物・無形成果の合計点数が60点～69点)				

○その他
成績評価における基準は、以下の通りです。 ○提出物(各テーマに関する成果物) 【関心・意欲・態度】 期限内に完成できているか(できるよう、自発的に取り組んだか)。 【知識・理解】【技能・表現・コミュニケーション】 作成物の完成度(当初予定の機能を満たしているか、要求された分析ができているか)。 【思考・判断・創造】 完成物の独自性、あるいは、実習結果に対する考察の度合い。 ○無形成果: 授業に欠席や遅刻・早退せずに、意欲的に取り組んだ場合、評価の対象とします。

2020年度 授業シラバスの詳細内容

○授業計画 科目名：ICT実践演習 (Practical ICT Skills) 授業コード:P181601 担当教員：松永 多苗子、高 文局、鈴木 秀男	○授業計画 科目名：ICT実践演習 (Practical ICT Skills) 授業コード:P181601 担当教員：松永 多苗子、高 文局、鈴木 秀男
学修内容	学修内容
1. ガイダンス(高・鈴木・松永担当) 授業内容と講義の進め方や評価方法などについて、ガイダンスを行いません。 予習： 復習：授業の進め方や評価方法などについて理解する。 (約2.0h)	9. テーマ2:動画編集・応用技術の学習(外部講師・鈴木・松永担当) 撮影した動画に音やテキストを付加する技術を学びます。 ・BGM ・テキスト ・ナレーション 予習：動画に音やテキストを入れる方法を調べる。 (約2.0h) 復習：BGM・テキスト・ナレーションを入れる方法を身につける。 (約2.0h)
2. テーマ1:HTMLの基礎(高担当) Webページの制作に使用するプログラミング言語であるHTMLについて説明します。 ・HTMLとは？ ・HTMLの基本構造について 予習：HTMLについて調べる。 (約2.0h) 復習：HTMLの基本構造を理解する。 (約2.0h)	10. テーマ2:インタビュー撮影(外部講師・鈴木・松永担当) インタビュー形式の動画を撮影する際の基本技術を学びます。実際にインタビュー動画を撮影・編集・鑑賞して、技術的なポイントを確認します。 予習：インタビュー形式の動画を視聴し、効果的な手法について調べる。 (約2.0h) 復習：インタビュー形式の撮影に対する基本的な技術を習得する。 (約2.0h)
3. テーマ1:HTMLファイルの作成&レイアウトの設定(高担当) HTML文書(ファイル)の基本的な構造を定義するためのタグの利用方法やレイアウトを設定するためのさまざまなタグを学習します。 ・ページの背景や基本となる文字の色に関する設定 ・文字の修飾(フォント, フォントサイズ, 文字列の色 など) ・特殊な文字書式 ・文字列の動きを設定する方法 など 予習：タグの利用方法について調べる。 (約2.0h) 復習：HTMLの基本構造を定義するためのタグを理解する。 (約2.0h)	11. テーマ2:動画作成実践編ー企画・構成(外部講師・鈴木・松永担当) グループに分かれて、実践的な動画作品の作成に取り組みます。「コース紹介」等のテーマを定め、グループ内での役割分担(監督・撮影・編集等)を決め、企画を練ります。 予習：他大学の紹介ビデオを調査する。 (約2.0h) 復習：企画した内容についての見直しを行う。 (約2.0h)
4. テーマ1:画像の挿入(高担当) 画像の表示に関するタグを学習します。 ・画像の表示 ・文字列の回り込み ・画像へのリンクの設定 予習：画像の挿入などに関するタグの利用方法について調べる。 (約2.0h) 復習：画像の表示に関するタグを理解する。 (約2.0h)	12. テーマ2:動画作成実践編ーロケハン・取材・撮影(外部講師・鈴木・松永担当) 撮影場所の実地調査や取材を行います。作品を構成するために必要な動画を撮影します。 予習：ロケハンについて調べる。 (約2.0h) 復習：撮影した動画を視聴し、作品を構成する上での過不足を確認します。 (約2.0h)
5. テーマ1:リンクの設定や表の利用(高担当) リンクを設定するための方法や表の作成に関するタグについて学習します。 ・リンクの設定 ・表の作成と表全体の書式 ・表によるレイアウト 予習：リンクの設定や表の作成に関するタグの利用方法について調べる。 (約2.0h) 復習：リンクの設定や表の作成に関するタグを理解する。 (約2.0h)	13. テーマ2:動画作成実践編ー撮影・編集(外部講師・鈴木・松永担当) 引き続き、作品を構成するために必要な動画を撮影します。撮影した動画を編集します。 予習：作品を完成するために必要な動画を確認する。 (約2.0h) 復習：作品を仕上げるための素材に過不足がないかを確認し、足りない部分は補う。 (約2.0h)
6. テーマ1:フレームやフォームの利用とWebページの作成(高担当) フレームやのフォームを作成するためのタグについて学習します。さらに、いままで学習してきた内容の総括として簡単なWebページを作成してみます。 ・フレーム領域の設定 ・基本的なフォームの作成 ・簡単なWebページを作成 予習：フレームやフォームの利用方法について調べる。 (約2.0h) 復習：簡単なWebページ作成ができる。 (約2.0h)	14. テーマ2:動画作成実践編ー編集(外部講師・鈴木・松永担当) 撮影した動画を編集し、効果をつけ、1つの作品として仕上げます。グループごとに作成した作品を発表し、講評しあいます。 予習：編集した作品に対して、ブラッシュアップできる箇所がないか確認する。 (約2.0h) 復習：他グループの作品を鑑賞して、自作品の改良点を確認する。 (約2.0h)
7. テーマ2:スマホを使った動画撮影の準備(外部講師・鈴木・松永担当) スマホを使った動画編集の現状について事例を見ながら学習した後、三脚の使い方や動画編集アプリの基本的な使い方等、撮影・編集の準備をします。そして、「キャラハン邸」を対象として、撮影に関する予備知識がない状態で第1回目の撮影・編集を行います。なお、雨天の場合は、対象を変える場合があります。 予習：動画編集に必要なアプリをインストールする。 (約2.0h) 復習：撮影に必要な準備について理解する。 (約2.0h)	15. テーマ2:動画作成ー総括(鈴木・松永担当) 動画撮影・編集についての講義・実習内容を振り返り、効果的に動画を利用できる場面や方法について、ディスカッションを行う。 予習：動画が効率的に使われている事例を調べる。 (約2.0h) 復習：動画作成のための技術を身につけ、実践で応用できるようにする。 (約2.0h)
8. テーマ2:動画撮影・編集の基礎技術の学習(外部講師・鈴木・松永担当) 各自で作成した動画を鑑賞し、ブラッシュアップするために必要な技術ポイントを学びます。再度撮影・編集・鑑賞を行い、最初に作成した動画と比較し、学んだ技術ポイントの効果を確認します。 予習：撮影した動画について自己採点し、改善点がないか考える。 (約2.0h) 復習：ブラッシュアップに必要な技術ポイントを理解する。 (約2.0h)	16. 予習： 復習：